

## 胆のう摘出で国内最多の症例数

内視鏡手術が普及された  
おかげで、従来なら何日も  
入院しなければならなかつ  
た手術が、日帰りや、たと  
え入院しても1—2日とい  
う短期間で  
済むように  
なったのは  
周知の通  
り。

名医はこの人



ブラツクジヤツクを採せ

内視鏡手術に日本での揺  
籃（ようらん）期から取り  
組み、特に胆のう摘出手術  
において国内最多の症例数  
を持つのが、福岡市佐田厚  
生会佐田病院院長、佐田正  
之医師だ。同院ではこれま

で約4700件の腹腔鏡下  
胆のう摘出手術を行ってい  
るが、うち2500件が佐  
田医師の手によるもの。今  
も胆石症以外の疾患を含め  
年間500件の内視鏡手術  
を行っている。  
東京や大阪でならともか  
く、福岡で全国最多の症例  
数を誇る背景には、大学病  
院や基幹病院などからの紹  
介の多さがあるという。

佐田厚生会佐田病院(福岡市中央区)

## 佐田正之理事長(57)

「大きな病院では今でも  
胆石の手術に1週間や10日  
間の入院が必要。しかも悪  
性疾患の手術を優先するの  
で、胆石症のような良性疾  
患は、手術の順番が回って

くるまでに時間がかかる。  
ならばそれを得意とする佐  
田病院でやってもらおう！  
ということ、紹介される  
ケースが多いんです」  
そうした信頼の元には、



確かな技術があ  
る。通常では1時  
間以上かかる手術  
を、佐田医師は20  
—30分で終わらせ  
る。それが手抜き  
ではないことは入  
院期間の短さが証  
明している。手術

さだ・まさゆき 1951  
年福岡県生まれ。77年久留米  
大学医学部卒業後同大第二外  
科入局。84—86年西独デトモ  
ルト州立病院留学。87年佐田  
厚生会佐田病院勤務。91年よ  
り理事長(97年より院長兼  
任)。九州大学医学部第一外  
科準会員、福岡大学医学部臨  
床教授、福岡市救急病院協会  
会長、日本内視鏡外科学会評  
議員・技術認定医ほか。

「胆石、尿管結石、急性  
膵(すい)炎の発作は、お  
なかの三大激痛」。特に胆  
石は発作がなければ痛みが  
ないので、以前は痛みが出  
るまで手術をしないもので  
した」と佐田医師。しか  
し、胆石を放置していれ  
ば、黄疸(おうだん)や膵  
炎、肝障害などのリスクが  
ある。

痛くなる前の手術となれ  
ば、なおのこと、気軽に  
受けてたい。佐田医師への医  
療ニーズが減ることは今後  
もなさそうだ。

## 胆石症内視鏡手術「早く、正確に」